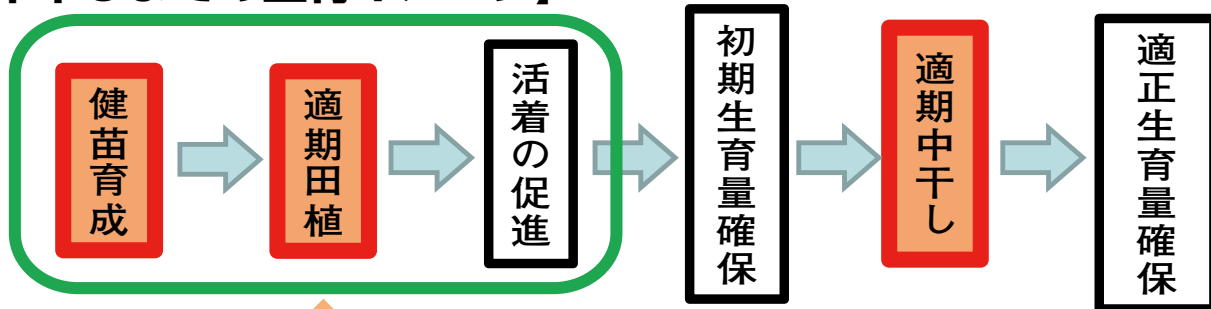


健苗育成と適期移植で初期生育量確保

【中干しまでの生育イメージ】



健苗育成

平成27年は、4月下旬～5月上旬の高温により、ヤケ苗の発生が目立ちました。温度管理の徹底で健苗を育成しましょう。

【加温出芽における基準温度・処理日数（稚苗）】

育苗段階	終了段階の苗の育成	温度管理		処理日数
		昼間	夜間	
出芽期	出芽長 0.5～1 cm	30℃	30℃	2～3日
緑化期	第1葉鞘長 3.5 cm	20～25℃	15～18℃	2～4日
硬化期	苗丈 12 cm	15～20℃	10℃以上	12～13日



ポイント

- ❗ 高温が予想される時は、二重被覆やこまめな換気等によりヤケ苗の発生を防止しましょう。
- ❗ 1葉が展開した頃が、緑化期終了です。速やかに保温シートをはぎましょう。
- ❗ 硬化期間中は8℃以下の低温や20℃以上の高温にならないように温度管理を行い、十分外気にならしましょう。
- ❗ かん水は1日1回午前中、温度が上昇する硬化期は、午前と午後（夕方は避ける）1日2回行いましょう。

適期移植

今年は少雪で、雪解けが早まる見込みですが、適期に田植えを行い、早期に茎数を確保し、適期中干しにつなげましょう。



ポイント

【移植最適期】 5月15～20日

- ❗ 大規模農家や複数品種を作付けする方は、最適期にコシヒカリの田植えがピークとなるよう作業計画を立てましょう。
- ❗ 田植後の活着を早めるため、田植え4～5日前頃に窒素成分で1～2 g/箱程度の弁当肥を施用しましょう。

登録用QRコード

稲作携帯メールサービスの登録で品質向上を目指しましょう！
【登録専用アドレス】 kitaunuma@haisin.jp
★配信元アドレスが変更になりました★

